

令和7年 市政ふれあい懇談会要旨

■開催日時 令和7年11月16日(日)14時~16時

■開催場所 湖北台近隣センター

■参加者 市民23名

■出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、
大井環境経済部長、海老原建設部長、中場都市部長、担当課長等19名

■懇談要旨

質問・意見1:年金、廃材放置の件、ふるさと納税について

市民:こちらとしては、いろんな要望もあるのですが。私ども年金受給者ということで、全国で3,600万人の受給者の中で、10万円以下の年金受給者は、2,300万人います。現実的にそういう状況の中で、生活は本当に苦しいです。そこのところは一つわかっていただきたいと思います。

質問ですが、団地の西の集会所の下に建設資材の廃材が放置されております。聞くところによりますと、撤去するという話を聞いたのですが、未だに何の動きもありません。市の方に業者から何か連絡はあったでしょうか。それからもう1点は、テレビで見えますと、ふるさと納税ですが、我孫子市でも、一生懸命やっていると思うのですが、お隣の守谷市では、70億円の収入、それから境町では、干しいものを販売している。全国でもトップクラスということで、我孫子市でも何かよい方策は、ありませんか。

回答1-1:廃材放置の件について

環境経済部長:湖北台団地の下の一部のところで建設廃材が山積みになっているということで、県と協力しながら業者さんの方にも、お話してるところですけれども、現在の詳細については、担当の生活衛生課からお答えいたします。

生活衛生課長:今お話のあった建築廃材につきましては、令和5年ぐらいから置き始めていて、一時期片付けられたりもしたのですが、今年度に入ってからまた酷くなったということで、いわゆる建築廃材は産業廃棄物に該当しますので、産業廃棄物を指導する権限を有する、千葉県が中心となって指導を続けています。今年度当初は県も現地を確認しながら、原因者に対して8月までにまず撤去してくださいということで、原因者もそこでお約束したのですが、8月も撤去されずにいたので、再度現地立会いに私どもも参加して、10月末までに撤去してくださいという約束をしたのです

が、結局それも果たされず、先週に原因者と千葉県と私どもでまた現地立会いをいたしました。その結果、来週からまた撤去作業を始めるといふうに原因者は言っているのですが、なにせこれまで、なかなかその約束が果たされていなかったということで、そこは我々も注視して確認しながら、様子を見ていきたいと思えます。ただ、ちょっと時間がかかり過ぎているということもありますから、場合によっては警察に相談するとか、そういったことも考えている状況です。

回答 1-2:ふるさと納税について

企画総務部長:ふるさと納税の件でございますけれども、企画総務部で所管をしておりますので、私の方からお答えをさせていただきたいと思えます。ご意見いただきありがとうございます。

現状をお話しますと、昨年ベースで市外から我孫子市に納税をしてくれた方の寄附額は、約5,500万円でございます。一方で、我孫子市の方が市外にふるさと納税をしているというような状況が多く、5億円を超える状況でございます。ただし、実際には国からの補填がございますから、実際の市の減収額は、我孫子市は約1億5,000万円という状況でございます。私ども歳入の確保ということで、他市のご紹介もありましたけれども、先ほど申し上げた5,500万円という去年の実績をまず今年度は、1億円の目標に引き上げて返礼品の開発ということに努めているところでございます。具体的に申し上げますと当市には我孫子ゴルフ倶楽部がございます。名門というところで、市外、特に首都圏から多くの方に来ていただけるというところで、そこに着目をしまして、今年度我孫子市の方にふるさと納税額として我孫子ゴルフ倶楽部だけで、500万円を超える寄付をいただいているという状況でございます。ただ、今、お話があったように、産品の中でヒット商品を出さなければいけないというのは、私どももごもつともだと思っております。今お米なども市内の農家さんに返礼品として提供いただけるようお願いをしています。流通状況が非常に厳しいところではございますけれども、我孫子市の返礼品としてお米を出していただくような、人気のあるものに目をつけて、努めているところでございます。一つ例を挙げさせていただきますと農産物の方では市内でもたくさん作ってる方がいらっしゃるのですが、我孫子市は多種多品目の物が多くて、一つのものをまとめて作っているというものがなかなかなく、一気に多く出荷できるというような状況にありませんので、そこをどうやって工夫してやっていこうかということも今後の課題になっております。それから境町の干し芋ですけれども、こちらは境町で加工場を用意しまして、一気に大量生産をして出すというような方式をとっております。我孫子市には、そのような加工場はないのですが、我孫子の物でなくても、市内で加工すれば、産品として返礼品に出せるという決まりもございますので、そこで

今市内の方で、すぐには言えませんが何か加工ができる大きな場所などを探して、商品を出していくなど、そういったことも考えているところでございます。いずれにしても、まずは先ほど申しあげましたように、市外にてている金額を少しでも埋められるよう納税いただけるように、協力をこれからも続けていきたいと思っております。今ここにいらっしゃる皆様市民の方ですので、返礼品を取ってしまいますとまたそれが収入減となってしまいますので、もし、我孫子市にふるさと納税をしたいという方がいらっしゃいましたら、市外にいらっしゃる親戚の方ですとか、ご友人の方に我孫子市に納税していただくよう、ぜひお伝えしていただければと思っております。

市長:ありがとうございます。ふるさと納税については、今部長が言ったように、事業は企画総務部が行っているのですが、いろんな事業者に協力をお願いしているところです。このような中、境町を視察しまして、地域で産品を作る工場が出来ないかということも含めて、我孫子市としてはどうしていくか、考えました。また、それと一緒に境町は無人バスも行っております。平和台線などは、走りやすいところですから、我孫子市でも出来るのではないかと考えましたが、視察の際にお聞きしたところ、何も無いところにぶつかってしまうような事故もあり、運転手さんはいるが、ただハンドルを握らないという運転をしていて、まだまだ、完全に運転手がいらないバスの運行は難しい状況です。また、タクシー会社では、車はあるのだけれど運転手がいらない、運転手がいても高齢化によって、暗くなると目がかすんで見えないなど、やはり高齢化による現状は、なかなか厳しいと実感しています。その内の一つとしては、今後高齢化が進んでいくと、老人ホームの建設を要求する市民の声が出てきます。当然、施設は作れても、そこで働く人がいるかという話があって実際に老人ホームの施設長と話をすると、日本人は2、3年だが外国人はちゃんと5年働いてくれる。真面目だと聞いております。行政サービス、あるいは市民サービスなど、そういう活動や、タクシー、バスも含めると、外国人労働者に頼らざるを得ない現状がいくつかの分野で、実際に起きているという状況です。ちょっと話はずれましたが、ふるさと納税は、PRすればするほど、皆さん方が故郷を思い出しながら、他の町にふるさと納税をする人が増えてきますので、他の町から我孫子市にふるさと納税をしてくれる場を増やさざるを得ないというのが現状です。実際には東京、大阪、名古屋だとか、その周辺のベッドタウンでは、税収が数十億単位で、最高だと確か100億円を超えて外に出ていくまちがあって、アップアップになっているところが多いのが現状です。市長会の意見が分かれるのは、そういう都市部ではふるさと納税が逆に減ってくるのですが、地方の市長が言うには、これら市の年間予算の1割から2割を占めるという町があるものですから、市長会としても意見が割れてまとまらない

というところで、国でも税制のあり方というのも考えてもらわないと、これから先もこのようなことが広がるだろうという感じはしています。

質問・意見 2:モバイルバッテリーの廃棄場所について

市民:市長にお願いがあります。実はこの近隣センターもそうなんですけど、小型家電の廃棄ボックスというのを置いています。それで最近、利用者の方がモバイルバッテリーの廃棄場所がわからず、ボックスの中に捨てようとして窓口に来たりするのですけれど、皆さんもご存知のように、飛行機の中で発火したりとか、ゴミ処理場で発火して大きな問題になったりしています。やはり、モバイルバッテリーの廃棄というのは、これから問題になってくると思いますので、我孫子市として今後どう考えていくか、お聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

回答 2:モバイルバッテリーの廃棄場所について

環境経済部長:モバイルバッテリーにつきましては、ニュースでいろいろ火災の原因になっているということで、回収の方は来年度以降進めていこうと考えています。詳細は、担当課職員がお答えします。

資源循環推進課長:モバイルバッテリーのリチウム電池につきましては全国的にかなり問題になっていまして、発火して危険なことがあります。現在、クリーンセンターで、消防署を呼ぶほどの大きな災害は出てないところでありますが、いろいろ危険だということは重々認識をしております。今進めているのは、令和8年の4月からこのリチウムイオン電池等を回収できないかというところで検討しております。今、回収場所の候補として挙がっているのは、クリーンセンターと市役所の生活衛生課です。こちらに直接お持ちいただく方法で回収することを考えております。また、それ以外にも回収できる場所が増やせないか、検討をしています。

市長:一番気になるのは、回収した後にそのまま発火してしまった場合です。特に段ボールの回収ボックスに投げ入れた後、しばらくして発火したということがいろんなところでありますから、そこも含めると、まだゴミ集積場で回収するのは、心配があるかなというふうには思っています。

そんな中で、今検討を進めているのですが、市役所だとか、あるいは消防も良いのではという話が出てきています。消防署でしたら、発火したらすぐ消せるだろうからということ。そうすると、市

内の4ヶ所の消防署と、または市役所、市内1ヶ所でグリーンセンター、これも結構遠いところですから、そうすると、あとは市内であちこちですけれども、近隣センターや行政サービスセンターがあります。ただ行政サービスセンターも火事ということはある程度考えた中で回収する箱はどのようなのか、当然、万が一発火したとしても、周りが火事にならないような箱はどのようなのか。それと、各近隣センターにおいても、設置を承諾してくれるかどうかということも含めて検討いたしていますので、いずれ湖北台のまちづくり協議会さんにもアンケートをとらせてもらうかもしれません。今後、少しずつ増やせるように、検討を進めていこうと思います。ぜひ、まちづくり協議会の役員会でもよく議論していただいて、ご検討いただければというふうに思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

質問・意見 3:夜間大型車の通行について

市民:手賀沼ふれあいライン、計画道路だと記憶しておりますが、下ヶ戸中里線につながる、走りやすい道路だと思いますが、平行する国道356号線とつながるのですが、あるものがないことに気づきました。それは国道にある大型車の通行止めの看板です。我孫子の交差点やマクドナルドの方に移行するとありますけれど、夜中に印西の方から高速で走行してくる大型車があります。明らかに我孫子市にないような会社の大型車で、みたところ、千葉ナンバーであったと記憶しています。夜、ゆっくり眠れませんので、何か良い方策はありませんでしょうか。ご検討ください。

回答 3:夜間大型車の通行について

建設部長:ご質問ありがとうございます。ご承知のように、我孫子市内というのは、基本的には大型車の通行はできなくなっているのですけれども、許可された車両などは通行可能となっております。ふれあい道路で夜中に印西の方から、他の地域のトラックがだいぶスピード上げて走っているというお話がありましたので、これは警察とも情報を共有するため、お伝えしまして、市で何ができるかというのは、考えたいと思います。あと、規制に関しましては、警察の方にお伝えして、皆様安心して夜中ゆっくりできるように検討していきたいと思います。ありがとうございました。

質問・意見 4:公園内の樹木管理、手賀沼遊歩道通行と立て看板、じゃぶじゃぶ池の利用、四季の道の管理、公園内のスケートボード使用について

市民:基本目標の6と7番に関連して質問します。一つは、私は4号公園のすぐ前に住んでいる

者ですが、先日も樹齢 50 年以上の樹木が伐採されました。4号公園だけでもすでに、ここ十年間で相当数の木が伐採されてます。中央公園もそうですし、五本松公園は、こもれびが入るよと
いうことで、伐採した関係もあるのでしょうか、我孫子の市内の公園の樹齢 50 年以上の木が
次々と伐採されています。それに見合う植栽はされるのでしょうか。1 年半ほど前のこの会議でも
発言して計画を立てるとい話を聞いたのですが、その後、どうなっていますか。

二つ目は、我々高齢者には、公園の充実というのは非常にありがたいわけですが、手賀大
橋から手賀沼公園までの間、遊歩道として、開放されました。しかし、せっかく作った遊歩道が途中
で、通行禁止という看板があって、何のために通行禁止になっているのか、何も理由を書いてない。
通行途中に下の道を通って下さいというふうになってます。最近行ってみたら、ススキがいっぱい
茂っていて、とても通れるような状態ではありません。複数の道を作ったのに通れないのであれば、
理由を書いておいてほしいです。

三つめは、手賀沼を綺麗にという看板、これも 1 年前発言しましたが、まだ汚いです。手賀沼を
綺麗にと言ってる看板が汚いわけです。1 回ちょっと綺麗にしてくれたようですが。だから公園課の
人が、あの辺をパトロールした時に、雑巾を何枚かお持ちなって拭けば、綺麗になって非常に気持
ちよく散歩ができると思います。

四つ目はですね、字が消えている。読めない看板はみっともない。相当大きい看板ですけど字
が全然見えない。それから、じゃぶじゃぶ池がありますけれど、これがよく入水禁止になっているの
です。何のために禁止になっているのか。せっかく作ったのと思うのです。今日見てたら、結構たく
さんの人があそこの周りにいて、親子連れもいました。やはり禁止するならば、それなりに、理由が
わかるようにした方がいいと思っています。

次にまもなく四季の道が開通すると思うのですが、四季の道にふさわしいような、四季の花が咲
くような、そういう道にすればよいかと思っています。検討してみたらどうでしょうか？また、前回の議
会で、スケートボードができる公園をという質問した方がいまして、それに対して我孫子市の答えは適
地がない危険である。こういう回答だったと思います。私どもの家の近所では、道路上で子供が行
っています。それよりは、危険じゃない所があるのではないかと思います。NHK の朝のニュースで
自治体が、スケートボードができる場所を作ったと放送していました。それぐらい今若い人に非常に
人気というところで、工夫すれば適地もあるし、初級用のスケートボードであれば、公園で出来るの
ではないかなと思うのですが、いかがでしょうか？

回答 4-1:公園内の樹木管理について

都市部長:まず、4号公園の中奥の辺りなんですけど、また今年も松枯れナラ枯れがあり、湖北台中央公園それから气象台公園で、毎年のように発生しています。なかなか広範囲に広がっているもので、収まりがついておりません。

ここ数年、毎年、補正予算で対策を講じている段階です。今年度も4号公園、湖北台中央公園、それから气象台公園で発生しています。まず、これから樹木の植栽という話はこういうものが一切収まらなければ、なかなか次の段階に進められないので、もう少しお持ちになっていただければと思っております。ただ実際に植栽がすごく少なくなっているというわけではまだないと思いますが、徐々に伐採が少なくなっていけば、植栽の方も次の段階として考えていきます。

回答 4-2:手賀沼遊歩道の通行と立て看板について

都市部長:続いて、我孫子高校前の堤防の遊歩道ですが、堤防の上と下に新しい遊歩道があります。堤防上の方は管理通路となりまして、通常通行をさせておらず、柏土木事務所の方が管理するための通路となっています。多少、歩行中通行止めの箇所があったりしますので、こちら表示の方については、柏土木事務所と協議をさせていただきます。雑草につきましては、ここ数年公園に限らず、遊歩道など雑草の草刈りに苦慮しております。通路上下を含めて下の方の遊歩道は、我孫子市が管理しておりますので、草刈は実施されておりますが、上は千葉県が管理していますので、土木事務所によると来週から管理通路側の方の雑草を草刈りすると言っておりました。看板のお話ですが、様々な看板が設置されております。2年前、3年前ぐらいに同じような話を受けて、看板設置時やパトロール時に、清掃を行っておりましたが、手賀沼公園から我孫子高校までの区間は、堤防を作るために、これまで通行止めだったのです。今後は、パトロール時に注意しながら綺麗にしていきたいというふうに思っております。

また、読めない看板につきましては、私も現地の方をパトロールして、読めない看板が何ヶ所か気がついたところがありますので、そういったところを重点的に看板撤去か、新しい看板を設置するかを検討させていただきます。

回答 4-3:公園内のスケートボードの使用について

都市部長:スケートボードについてですが、確かに前回の議会で、公園ではどうかというお話でしたが、なかなかスケートボードを管理していく上で、制御するものがありません。それと公園は住宅

地が近いところであると、音はものすごい騒音となります。ボール遊びと同じように、近隣の方からの苦情はかなり入ってくるものだと思っております。そのため受付やそういったものがきちりとできるスケートボード専門の広場というような考えであれば、計画段階から地区要望や団体などからまとまってきた場合には、検討することになるかと思えます。一つの公園でただ単にスケートボード場というのを受付もなく設置するのは難しい、という考えを示し答えさせていただいておりますので、ご理解いただければと思います。

回 答 4-4:四季の道の管理について

建設部長:私の方からは、四季の道の件で回答させていただきます。四季の道が開通するときには相応しい道にしてほしいとのことですが、資料の9ページの都市計画道路の事だと思います。今後、四季の道の延長部になると思いますので、それにふさわしいような道路として整備していくよう、検討していきたいと思えます。

回 答 4-5:じゃぶじゃぶ池の利用開放について

環境経済部長:じゃぶじゃぶ池を通年で利用できないかということですが、現在使えるようになるのが、夏場になります。使えるようにするには、やはり清掃であったりとか、ポンプで水を汲みあげたりすることになります。また冬場ですと寒いので利用される方も少ないのかなというふうに思えます。利用禁止の理由を、しっかり明示するような形で対応したいと思えます。

市 長:たくさんの意見ありがとうございました。手賀沼遊歩道の件ですが、一番上の通路は先ほど部長が言ったように、いわゆる管理用道路という形をとって行って、一段低い沼側の方を遊歩道として、開放しています。実は、計画時に若松周辺の住宅にお住まいの方から、遊歩道から家の中が覗けるので、歩かせないようにという住民の声を踏まえての対応になっているということ、まずご理解いただければと思います。それとスケートボードができるようにすると、これもやっぱり、周辺の住民の声が必ず出ます。

今、手賀沼公園にバスケットゴールがありますが、こちら、夜遅くまで公園の中でバスケットを行っている人がいると、近くの住民からすごい苦情が来ます。湖北台中央公園でいろんなイベントがありますけれども、和太鼓祭りなどを行うと苦情が来ます。やはり、13万人も住んでいると、いろんな方がいますので、苦情が入ります。特に住宅地近くで、いつでも使えるようにしておく、遊ぶ時

間が分からなくなって、夜中でもやってくる人がいて、利根川沿いにある、ゆうゆう公園でも騒音で市役所に苦情が入ります。厳しい場合は、小学校運動会の準備で白線を引いている音だけでうるさいと言ってきたり、今日はお祭りだということで、6 時ぐらいに花火を上げたら、うるさいと苦情が入り、夜救急車のサイレンがうるさいから救急車のサイレンを鳴らさずに走れという声が出てくるのが、現実にあります。いろんな形でやはり多くの方から苦情がないような状況を作っていくためには、騒音問題というのを十分考えた上で、設置をする必要があるだろうというふうに認識をしているところであります。

質問・意見 5:湖北台図書館の建設について

市民:非常に財政が厳しいということで、市役所の方たちのご苦勞なさっているんだと思うと、言いつらくなってきたのですが、でもせっかく来ましたので、一つだけ言わせてください。それは、湖北台の図書館の復活をお願いしたいということです。このまま図書館をなし崩しにしてほしくないと思っているところです。私は、40 年以上ここに住んでいて、娘が小さいときに、水道局の前でしたけれども、あの図書館をすごく利用させていただいて、参考書を読む大人がいて借りて、そしてそういう姿を見て子供たちを育ててきたつもりなんです。突然、昨年それが無くなりました。新しい図書館は建つらしいという話は流れまして、私もすごく期待したのですが、まだ先そうですね。近隣センターで受付出来るのですが、でも日曜日はやってないわけで、また、予約をする本を受け渡し、返却するというのも出来るが、はっきり言ってスマホで予約ができない方は全然できないと、もう本当にすごく遠く離れてしまったという感覚だとシニアの方のお話を聞きます。そして、また来月 2 日から湖北地区公民館の方に移ると、ますます湖北台から離れて図書館が遠く行ってしまったら、地元の図書館ではないです。予約の受付とそれと返却というのであれば、作業場所みたいな形になってしまうので、どうか、うやむやにしないで、図書館の復活の兆しが見える話をしていただければ、今日は来たかいがあると思います。よろしく願いいたします。

回答 5:湖北台図書館の建設について

市長:ありがとうございます。図書館につきましては、この会場で、何度もやりましたけれども、今、湖北台にある消防署の公共施設は、当時公団が建ててくれて、市に寄付してくれました。当然 60 年近く経つ状況なので、そろそろ建て替えという状況の中で、図書館移転建て替えという提案をさせていただきます。ただ、そのときには図書館は、基本的には今の場所から動かなくていい、そして

整備1期目、2期目という形で分割をさせてもらうという形で整理をさせていただくことになりました。

先ほど説明したように、今の消防署の敷地は消防の引っ越しが終わったら、そこは更地にする予定で、そのあと敷地をどうしようか協議を進めて行くのですが、あの場所にぜひ図書館をという声が増えてきているのは承知をしています。

また、今の消防署のところに一緒に図書館をという話だったのですが、そうすると湖北台の西側の方々が遠くなるので嫌だ。今の図書館あたりであれば、東側の方々が遠くて嫌だということで、湖北台自治会連合会と街づくり協議会の皆様にもご協力いただいて、いろいろ意見集約をしていたのですが、残念ながらまとまらない状況です。一応、図書館は、消防の引っ越しが終わってから再度検討しましょうということになりました。教育委員会としても、図書館は我孫子地区と湖北台と布佐の三つを作る予定が変わらなかったことで、今も教育委員会と話をしているのは、湖北台西小学校の敷地に建ててはどうかということです。そうすると、今の図書館の場所からはほぼ移動しないからです。道路の反対側ですから、西小学校の敷地の一角を利用する。または、今の消防署の敷地のところでどうだろうかということで、意見を求めるという形をとっています。

財政が厳しいというのは、もう昔からそうですけれど、私が市長に就任した時は、財政調整基金が5億円でした。その年の職員のボーナスも払えないという状態のときから比べると、今は財調30億円あります。とは言っても、建設するにあたり、建設費用がほぼ倍になってきていますので、そうすると、慎重に一つずつ解決をしていく必要があると認識していただければと思っています。

特に湖北小学校体育館は予想外に建設費が高くなっています。残念ながら、13校ある小学校のうちの1校だけが、母校の体育館で卒業式入学式ができないという子供たちのためには、ぜひ早期建設をしてあげたいと思っています。それについては、市外に住まれている卒業生からも寄付をいただいているということで、1,600万円を超える寄付がされていますので、ここはぜひ少しお待ちいただいて、まずは湖北小学校の体育館を完成させる。そして、最近の夏は暑くて、ぜひ小学校体育館にもエアコンをという子供たちの声が出始めると、どちらが先になるのかということ踏まえながら、まず検討は進めていきたいと思います。湖北の消防署の移転が終わるまでは、その場所は工事も出来ませんので、今お示した2ヶ所。西小の一角か、湖北台消防署跡地か、それぞれの自治会の中で話し合いをしていただいて、少しずつ集約していただければと思います。場所が決まらなると図面もひけませんので、ぜひ各自治会からも、ご意見をよろしくお願ひしたいと思っています。

質問・意見 6:湖北特別支援学校付近の道路の整備について

市民:前は買い物に出てくるのに、湖北特別支援学校の前の大きな坂道を自転車で上がっていましたが、今は年のせいもあり、もう上がれません。踏み切りのところにパン屋さんがあり、湖北高校があった時の湖北駅よりの踏切なんですけど成田線を挟んで、片方はマンションが建っています。成田線を挟んで、両側の道路が波打っています。わだちが出来て、タイヤとの間の真ん中が盛り上がっているようです。道路を何とかしてください。

回答 6:湖北特別支援学校付近の道路の整備について

建設部長:市でも、定期的に市内をパトロールしながら、道路が損傷していないか、そういったものを見ているのですけれども、市内道路約500キロを限られた人数で行っておりますので、皆さんからのそういう情報は本当に助かります。早速、現地の方の確認をしまして、検討したいと思います。

質問・意見 7:中里通りの車両走行スピードについて

市民:それから中里通りは、車は何十キロで走ったらいいんですか。狭い通りなのにスピードを出して、車が走ってきます。危険です。若い人は、大きな車に乗って、それでスピードを落とさない。子供達が学校帰りに危険な目に合わないよう、対応を考えてください。

回答 7:中里通りの車両走行スピードについて

建設部長:多分、30キロぐらいだと思います。中里通りについては、今のお話を伝えて、見廻りしてもらいように、警察の方にお伝えします。

質問・意見 8:湖北駅のエレベーター修繕のお願いについて

市民:それともう一つ、湖北駅のエレベーターがありますよね。中に入るとボタンを押す箇所が4ヶ所あるのですが、1箇所電気がつきませんので、よろしくお願いいたします。

回答 8:湖北駅のエレベーター修繕のお願いについて

建設部長:エレベーターにつきましては、南側ということでよろしいですか。早急に点検をしまして、改善いたします。申し訳ございません。

市長:いつも情報提供ありがとうございます。直ぐに職員が見に行きます。中里通りについては、警察と相談しながら、道路標識も含めて検討させていただきます。

質問・意見 9: 農薬散布の時期の周知方法について

市民:ドローンを所有する方に市の方から指導していただきたい。田んぼで農薬を散布するのですが、住宅とか建物が点在する地域に関してはポスティングをお願いいたします。建設業者がやるように、何月何日から何日の間に散布する旨をポスティングで知らせていただきたいと思います。ふれあいラインには両側に田んぼや建物が点在してしまっていて、建物の壁から2mから3m近くまでドローンが飛ぶのです。回覧ですと散布期間が過ぎてから自分の所にまわってくる場合がありますので、ぜひポスティングの検討をお願いいたします。

回答 9: 農薬散布の時期の周知方法について

環境経済部長:農薬散布につきましては、市の方でも補助金を出しております。周知方法がポスティングが良いのか、周知看板が良いのかどちらでしょうか。

市民:ポスティングが良いです。看板では字が見えない。

環境経済部長:散布する地域の各家庭にポスティングをするようにいたします。